

# コレクション展1 日本画と文学

〔特集展示〕横山大観と上村松園の文学趣味



③



②



①



わが国の絵画は古くから、種々の文学作品とかかわりながら展開してまいりました。そのため、伝統的絵画に学ぶ近代の日本画家にとって、画題の選択や情景の描写、詩情の表出等に際し、幅広い文学の素養は必要不可欠なものとなりました。

今回のコレクション展は、こうした文学性の高い日本画作品をとおして、作品や作者に対する興味と理解を、美術と文学という両面から深めようとするものです。「第一章：漢詩と日本画」では、漢詩が添えられた南画作品や中国の詩人を描いた作品等を、「第二章：和歌と日本画」では、和歌にゆかりのある作品やいにしへの歌人たちを描いた作品等を、「第三章：絵筆が紡ぐ物語」では、神話や物語の一場面を描いた作品等をそれぞれ展示します。また、特集展示では、文学作品を背景とした横山大観、上村松園の作品を紹介します。

- ① 冷泉為恭《芳野・龍田》安政6年(1859)頃
- ② 松林桂月《梅竹小禽》昭和21~22年(1946~47)頃
- ③ 小川芋銭《大國主》大正13年(1924)
- ④ 小堀鞆音《龍卵鳳雛》明治25年(1892)
- ⑤ 横山大観《赤壁》(右隻)明治42年(1909)
- ⑥ 上村松園《君が代》(素描)
- ⑦ 上村松園《二条院讀岐》(素描)



⑦



⑥



⑤



④

**二階堂美術館へのアクセス**

- ◆ JR日豊本線「日出駅」下車徒歩3分
- ◆ 大分交通バス「日出」停留所下車徒歩15分